



うんどうかい その後 ……

17日の月曜日は残念ながら参観日とはなりませんでしたが、18日（火）と20日（木）は快晴でお家の方々と一緒に楽しいうんどう会ができました。両日とも保護者席から、笑顔と心のこもった拍手や手拍子を送ってくださりありがとうございました。子どもたちも嬉しそうにしていましたね。

子どもは年齢と共に、お家の方や大人の前で頑張りたい、期待に応えたいと思う気持ちが芽生えてきます。けれどその思いが強くなり過ぎると、いつものように活動することができなくなることもあります。中にはうまくいかなかったことをとても気にしてしまい、なかなか気持ちを切り替えられない様子も見かけます。結果に固執せず過程に思いを向けて、勝敗や出来不出来を越えた「楽しみ方」を味わうことができれば、それもまた大きな成長だと思います。競技に対する思いに限らず、普段の園生活の中で、物を作ったり絵を描いたりリズム運動等様々な経験を通して、子どもたちの【心の成長】にしっかりと目を向けていきたいと思っています。

連絡帳で感想を寄せて頂きましたので、いくつか一部抜粋してご紹介させていただきます。

保護者のご感想

「運動会参観、とても楽しい時間をありがとうございました。家庭生活ではなかなか見る事が出来ない様々な成長を見る事が出来、主人共々感動の一日となりました。」

…子どもたちは家庭生活と園生活、両方に身を置きながら成長している訳ですが、園生活ではやはり集団の中でどう過ごすか、どのように自分を表現するか、その中でどんな風に力を発揮するか。周りとのコミュニケーションをとりながら、協同・協調することを学んでいきます。



「年少さんのかけっこは、みんな笑顔で体を動かすのが楽しくてしょうがない様子。年中さんのかけっこは少し長い距離をのびのび走れるようになり、年長さんのかけっこは勝負のすがすがしささえ覚える見ごたえのあるものでした。」

「たくましくなった息子にとっても感激しました。つなひきの一体感のさすがだあとと思いました。」

「めっきらもっきら…は布一枚ですが、それをまとう事で本人もモモンガーになりきってとんでいて、喜んでしている様子が伝わってきました。(略)長時間でしたが、さすが年中さんになって体力もついてよく頑張っているな～と思いました。」

…年少児、年中児、年長児、それぞれの今の姿で種目に取り組んでいましたね。

「今朝もリレーで速く走れるように『髪をうしろでむすんで行く』と言ってはりきっていました。帰ってからは『運動会でおなかやすいた～』と言って夕食をとり、おふとんに入ったら、いつもと違ってすぐにひとりで寝てしまいました。お疲れさま。」

…なんだか身体も心も大きくなったように感じますね。

21日はうさぎぐみとはなぐみのうんどうかい。24日はひよこぐみとほしぐみ、ゆきぐみのうんどうかいを、参観日に欠席した子どもたちのお家の方と一緒に楽しみました。プログラムは参観日とは違い、年中児や年長児がお家の方の代わりに年少児と「お届け物」をしたり、踊ったりしました。また、年長児が年少児の「玉入れ」に興味を持っていたので、一緒にしたり、二人組で「台風の日」を行ないました。ルールを守ってとても楽しそうな台風の日でした。

25日は、年中ぐみのうんどうかい。26日は年少ぐみのうんどうかいを行なう予定です。年中児は「大玉ころがし」を楽しみにしています。年少ぐみは、かごの中に入れる「玉入れ」に挑戦する予定です。

子どもたちはもちろん、私たちもどんな姿を見せてくれるかとても楽しみなうんどうかいが続きます。

